

知床沖事故で安全徹底を 観光庁が呼びかけ

始めた。遊覧船の利用者が増えるゴールデンウィーク前の4月28日まで、過去の処分事例などを参考に優先度をつけて点検した。

北海道知床半島沖で発生した遊覧船沈没事故を受けて、観光庁は4月25日、観光・旅行業団体に対し旅行者の安全確保を徹底するよう文書で伝えた。

企画旅行の実施の可否に際しては、現地の状況等を十分踏まえた対応を求るよう会員への周知を求めた。

また、日本観光振興協会に対しては、観光施設の管理者や観光関連サービスの提供者が自らの施

日本旅行業協会、全国旅行業協会に対しては、

設や提供するサービスについて安全を確保するために適切に対処すること

を、改めて周知するよう求めた。

国土交通省は4月25日から全国の旅客船事業者に対する緊急安全点検を

国内の旅客船事業者は953社あり、運航船舶数は2234隻ある。このうち遊覧船などが該当する旅客不定期航路事業は560社で、船舶数は

1127隻。